

廣 告

東京淺茅仲彦三日月豆ハ節一所始め
 宣稱方。毎様方大臣決家お様其出
 入は後守師ほ又も候。言配達仕候

セトツ一

人のあつまる淺茅の
 親方様ハ名も多し。
 づくいあまる人迄も

セトツ二

ふかい心の親世音仲彦
 れんぐわの東のハ人
 あつまる三日月や

セトツ三

三日月豆の。以てハ
 もいもかあやきふ
 海州美やげの名物よ

セトツ四

とろづ。みやぎハ多けれど
 豆はどあんな物のハナ
 まめを。以てハ親世音

セトツ五

以てかわらん親世音
 かわる海以てよ人心
 まめを。あたらハ。きああ

セトツ六

むーもとも同。事
 一をうれば二ツあ
 海めなせ人まめふれ

セトツ七

なまを。いのちも。あんな
 いの肉より外ハあ
 まめを。くらさ。はうきよ

セトツ八

山も谷も世の中は
 神も佛も。又ちあつまる。
 もとめて。豆ハなれ

セトツ九

心の肉と神佛とくら
 地おくる。又の肉と豆の
 美やげを。つぐらうら

セト十

浅茅又やげの海。又ハ
 豆の度。ハ。大いねを